

医療介護の最先端・国策に沿った老人ホーム 食費込み月額9万5千円 年金の範囲で住める「介護の王国」

インキュベクス

フランチャイズ型で拡大する新しいタイプの有料老人ホーム「介護の王国」(<http://jp2.kaigo-kingdom.jp/>)は、インキュベクス(横浜市港北区新横浜、上村隆幸代表取締役、045・474・5269、<https://www.inquvex.co.jp/>)が全国展開をめざす開業運営支援サービスのブランドであり、同社関連会社による直営展開も始めている。

「介護の王国」は、年金の範囲で住める月額9万5千円の利用料(食費込み)を実現する一方で、自立支援の取組みや、社会問題となっている空き家の転用までもコンセプトに盛り込んだ意欲的なビジネスモデルとして、医療介護業界のみならず、建築、不動産業界などからも注目を集めている。

同社は平成24年から「ケアーズ訪問看護ステーション」という訪問看護ブランドを創り、延べ

650社以上に起業支援を提供、看護師5,000名以上の雇用創出を行ってきた。

しかし、上村代表取締役は、訪問看護だけでは高齢者のニーズを満たせないことに悩んでいた。そこで産業技術大学院大学の修士課程に入学した上村代表が、研究室のチームとともに、訪問看護師へのヒアリングや行動観察による課題抽出を通じ生み出したのが「介護の王国」だ。低所得の高齢者など住まいに悩む方が多いことや空き家など遊休不動産の増加も視野に、「介護の王国」は住まいに充実したケアを併せたサービスが特長である。

代表が大学院で学んだ知識は、IoTによる職員の負担軽減や利用者の満足度向上にも結びつき、自立支援や介護予防の観点も盛り込んで、時代の最先端を走る高付加価値の有料老人ホームとして結実したのだ。



「介護の王国」のモデルルーム



一大介護ビジネスモデルで新たな価値の創造をめざす上村隆幸代表取締役